



SAIKOKU
観音巡礼

やまとさんだいかんのん
大和三大観音

あぢさゐる回廊と

かいろろう

大和あじさい重ね色巡礼

日本最古の霊場、西国三十三所観音巡礼（日本遺産）の奈良札所寺院である壺阪寺、岡寺、長谷寺では今年も「あぢさゐ回廊」を開催します。さらに室生寺を加えた「重ね色巡礼」も行います。

令和6年5月25日（土）～7月7日（日）



紫陽花切絵朱印 志納金千円

3ヶ寺の切絵朱印を納める特製台紙 志納金五百円

壺阪寺

西国第六番札所

大宝三(703)年、飛鳥寺の弁基上人が山中で修行していたところ、愛用の水晶壺を坂の上の庵に納め、感得した像を模刻して祀ったのが始まりと言われます。本尊十一面千手観世音菩薩様は、衆生救済の強い力を感じさせ、古来より眼病に靈驗あらたかな観音様、目の観音さまとして、広く信仰を集めています。桜が堂塔伽藍を包み込む様に咲き誇り、大釈迦如来石造が桜に包まれるお姿は「桜大仏」と呼ばれています。つづいて山吹の黄色、新緑の緑が境内を鮮やかに彩ります。

●壺阪観音お身拭い特別結縁参拝

開催日時 令和6年4月27日(土)～7月7日(日) 8:30～17:00

料金 / 500円(入山料別途・共通券あり)

本尊のお膝に特製の布で触れて、深くご縁を結ぶことができます。

※二大塔(三重塔・多宝塔)初層特別開扉も同時開催

長谷寺

西国第八番札所

御本尊は身の丈10mを越える大きさを誇る十一面観世音菩薩で、右手に錫杖を持ち大盤石に立つ独特の姿をしています。古くから観音詣での聖地として知られ、『源氏物語』や『枕草子』など多くの古典文学にも登場します。真言宗豊山派の総本山であり、西国三十三所霊場の第八番札所でもある長谷寺は、古来より「花の御寺」として有名で、梅、桜、牡丹、紫陽花など多くの花が訪れる人々の目を楽しませます。

●本尊大観音・本坊大講堂特別拝観

開催日時 令和6年3月1日(金)～7月7日(日) 9:00～16:00

料金 / 本尊1000円・本坊500円(入山料別途・共通券あり)

※時期によっては本坊拝観を休止している場合があります、詳しくはHPで確認してください。

岡寺

西国第七番札所

飛鳥の地に建立され1300年以上の歴史を刻む岡寺は、日本最古の巡礼道西国三十三所観音霊場の第七番札所です。また日本最初のやくよけ霊場としても信仰を集めており、特に女性の厄除けに靈驗あらたかといわれております。御本尊の如意輪観世音菩薩は日本最大の塑像(土でできた仏様)であり、国の重要文化財に指定されています。春にはシャクナゲや天竺牡丹、夏には紫陽花、青紅葉、秋には紅葉が境内を彩ります。1年を通じ厄除けの参拝や巡礼者で賑わう祈願と巡礼の寺院です。

●本堂内々陣お扉特別開扉

開催日時 令和6年4月1日(月)～6月30日(日) 9:00～16:00

料金 / 大人400円、高校生300円、中学生200円、小学生以下無料

本尊の脇にある扉が開帳され間近から全身を拝むことができます。

室生寺を加えた 大和あじさい重ね色巡礼

紫陽花が咲く4つのお寺の無料スタンプを押して4色重ねて一枚の絵にしよう!



紹介動画へ

長谷寺YouTube

女人高野 室生寺

奈良時代末の宝亀年中に創建されたと伝わる。境内には沢山の文化財の堂塔や仏像を安置し、石楠花、紫陽花、など四季をお楽しみいただけます。